

「百合白清2」について

1 「百合白清2」の造成

(1) 背景・目的

優秀な県有種雄牛の早期造成を期待する農家要望に応え、鳥取県和牛改良方針に基づき、県内和牛の改良を促進するために独自性の高い種雄牛造成を行ってきた。

種雄候補牛の遺伝的産肉能力を判定する現場後代検定を平成15年から35頭実施し、これまでに15頭の候補牛が選抜されてきた。平成26年9月に新たに「百合白清2」が好成績で選抜されたので紹介する。なお、今回の「百合白清2」は日本一の産肉成績で後代検定を終了した。



(2) 「百合白清2」の要約

1) 血統

母「みどり」は、「白清85の3」の娘牛で県内脂肪交雑育種価トップの高能力雌牛である。その「みどり」に「百合茂」を交配、作出したのが「百合白清2」である。

百合茂 黒原 4086 (88.8) [鹿児・薩摩] 直検 1.54 G=20 現検 H14	平茂勝 黒原 2441 (89.0) [鹿児・薩摩] 全共 直検 1.47 問検 1.01 3.3 H06 43 73.0	第20平茂 黒育 134 (84.7) [鳥取・八頭] ふくみ 黒高 106567 (81.0) [鹿児・曾於]	気高 黒育 9 [鳥取・鳥取] 第13ひらしげ 黒高 16819 [鳥取・鳥取] 宝勝 黒育 175 [鹿児・鹿屋] はつこ 黒原 156592 [鹿児・曾於]
	しらゆり 黒 1968419 (78.8) [鹿児・薩摩]	神高福 黒高 929 (82.0) [鹿児・出水] 第2しらき1 黒原 661658 (82.3) [鹿児・肝臓]	忠福 黒育 129 [兵庫・美方] めぐみ 黒高 69294 [鹿児・志布] 忠福 黒育 129 [兵庫・美方] 第2しらき 黒原 567255 [鹿児・鹿屋]
	みどり 黒原 1311663 (83.3) [岐阜・高山] 直検 1.13 G=24 現検 H14	白清85の3 黒原 4009 (82.2) [岐阜・高山] 直検 1.13 G=24 現検 H14	飛騨白清 黒原 2640 (83.2) [岐阜・飛騨] やす19の3 黒原 957178 (80.3) [岐阜・高山]
育種価AAABAA 産子番号 6 (平成16年11月7日生)	みすず 黒原 1239681 (82.2) [岐阜・高山]	平茂勝 黒原 2441 (89.0) [鹿児・薩摩] ひろみ 黒高 142235 (00.0) [岐阜・高山]	第20平茂 黒育 134 [鳥取・八頭] ふくみ 黒高 106567 [鹿児・曾於] 安福(岐阜) 黒育 180 [兵庫・美方] たかこ 黒原 483584 [岐阜・高山]

平成22年1月23日生
琴浦町産

黒原5361 (82.8点)

【美点】発育、体深、
被毛密度、前駆幅、
背腰幅、腿下がり

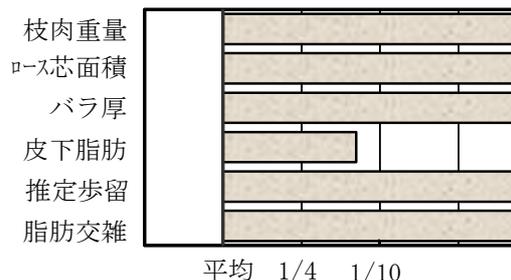
2) 育種価評価

平成26年7月評価で、枝肉6形質のうち皮下脂肪を除く全ての形質で、県内雌牛の上位1/10を超える数値であり、枝肉重量に富み、歩留りと、脂肪交雑に優れた枝肉生産が期待される。

育種価評価(遺伝的能力評価値)

	百合白清2 検定後	県内雌牛 平均
枝肉重量	114.27	28.13
ロース芯面積	29.03	5.29
バラ厚	2.01	0.61
皮下脂肪	-0.69	-0.30
推定歩留	4.54	1.06
脂肪交雑	3.71	1.14

県内雌牛との育種価比較



(平成26年7月評価(追加版))

*「平均」「1/4」「1/10」はそれぞれ県内供用中雌牛の「平均」「上位1/4」「上位1/10」の育種価を示す

2 試験成果の概要

【現場後代検定成績】

性	祖父	曾祖父	産次	出荷月齢	と場	肥育農家	格付	枝肉重量	ロース芯面積	ハラ厚	皮下脂肪厚	歩留	BMS	BCS
去勢	安福久	平茂勝	8	28.2	名和	肥育農家A	A 5	554.7	84	9.3	1.6	78.2	12	3
去勢	勝忠平	金幸	1	28.3	名和	肥育農家A	A 5	512.6	78	9.1	1.9	77.5	12	3
去勢	平茂晴	東平茂	3	28.6	名和	肥育農家C	A 5	569.7	74	8.6	2.2	75.7	10	3
去勢	平茂勝	安平	13	28.6	名和	畜産試験場	A 5	548.4	72	8.8	2.3	75.7	9	4
去勢	第1花園	紋次郎	2	28.9	名和	畜産試験場	A 5	581.9	60	9.0	2.3	73.9	9	3
去勢	白清85の3	光平福	2	28.4	神戸	畜産試験場	A 5	524.6	61	9.1	3.4	73.9	8	3
去勢	安平	隆桜	10	28.1	名和	畜産試験場	A 4	519.3	54	9.1	2.5	73.7	7	4
去勢	福桜(宮崎)	糸弘2	8	27.1	名和	肥育農家A	A 4	438.3	50	7.6	1.9	73.8	7	4
去勢	安平	第7系桜	3	25.7	名和	肥育農家B	A 4	499.0	56	8.3	1.9	74.2	6	4
去勢	平茂晴	安平安	3	28.7	名和	肥育農家E	A 4	576.6	54	8.4	2.4	72.6	5	4
雌	千代桜	平茂勝	5	28.7	神戸	肥育農家A	A 5	442.4	88	9.4	3.4	78.6	12	3
雌	安福久	安平	1	29.9	名和	畜産試験場	A 5	478.6	89	8.8	2.7	78.4	12	3
雌	安福久	美津照	1	29.2	名和	畜産試験場	A 5	457.8	85	8.5	2.3	78.4	12	3
雌	菊平(鹿児島)	金幸	7	30.2	名和	畜産試験場	A 5	491.2	71	9.0	2.5	76.3	11	4
雌	飛驒白清	糸福(岐阜)	7	31.0	神戸	畜産試験場	A 5	465.6	68	9.2	2.6	76.3	9	4
雌	国牽白清	安福(岐阜)	1	28.9	名和	畜産試験場	A 5	504.8	62	8.2	3.1	73.9	9	3
雌	智頭平茂	糸北鶴	12	28.9	神戸	肥育農家D	A 5	487.0	64	8.7	3.3	74.5	8	4
雌	平茂勝	安福165の9	12	29.9	名和	畜産試験場	A 4	537.3	67	8.0	3.0	74.1	7	4

平均	510.5	68.7	8.7	2.5	75.5	9.2	3.5
去勢	532.5	64.3	8.7	2.2	74.9	8.5	3.5
雌	483.1	74.3	8.7	2.9	76.3	10.0	3.5

注)単位は枝肉重量:kg ロース芯面積:cm² ハラ・皮下:cm 歩留:%

ロース芯面積は平均68.7cm²、BMSナンバー平均9.2と、「福増」を凌ぎ、平成26年8月時点で、全国最高の好成績を収めた。枝肉重量の平均510.5kgも県内最高の成績である。また、検定牛の全てがBMSナンバー5以上かつ肉質等級4等級以上であった。特に雌牛はBMSナンバー平均10.0で、8頭中7頭が5等級を記録した。

3 交配上の留意点

【推奨する交配パターン】

母牛の系統は特に選ばないが、島根系や兵庫系の産次の進んだ雌牛との交配では肉質がばらつく傾向がある。

4 試験担当者

育種改良研究室 研究員 山本理恵